opusdei.org

## 年間第11週日曜 日・A年88最も効 果的な手段

一使徒職が急務。「借り入れは多いが、働き人は少ない」。一言い訳は無価値。主は私たち全員を使徒職に招かれた。祈りは、最も効果のある手段であり、。一主に召し出しをお願いする。

2024/04/28

年間第11週日曜日·A年

## 88 最も効果的な手段

- 一 使徒職が急務。「借り入れは多いが、働き人は少ない」。
- 一 言い訳は無価値。主は私たち全員を使徒職に招かれた。祈りは、最も効果のある手段であり、召し出しを得るのに不可欠。
- 一 主に召し出しをお願いする。

88. 1 使徒職の緊急性、刈り入れ は多いが働き手は少ない

今日のミサの福音<sup>1</sup>には、イエスが神の国の訪れを教えられるために、町や村を巡られたとき頻繁れて見られたに違いないことが述べられを見て、彼らを見て、彼らないました。羊飼いのいず、苦しおがな、帰る所を見て、そのいばらを動かされました。羊飼いはならでり世話をするのではなく、彼らを

蔑(ないがし)ろにして、羊飼いとい うより狼のように振舞いました。そ こで、イエスは弟子たちに言いまし た。「収穫は多いが、働き手が少な い」。同じことが今日も言えます。 仕事が行われたのに働き手があまり にも少ししかいません。出かけて 行って刈り入れる人がいないので、 収穫物の実りは失われるのです。そ のため、緊急に必要なのは、キリス ト信者が喜びに満ち、効果的に働 き、単純で、教会に忠実であり、自 分がしなければならないことを自覚 することです。使徒職をとおして、 キリストを作業場や大学にもたら す、職人や学生たちを神が必要とし ておられるので、私たちは皆必要と されているのです。神は、模範的で キリスト教的な見解を持って教える 教師、学生に時間を割く教師、本物 の教師を必要とされています。神 は、あらゆる活動において信仰に生 きる男女を必要とされています。神 は、子どもたちの教育と信仰に心を

砕き、学校の父兄会や自治会の集会 に積極的な役割を果たす両親を必要 とされています。

私たちは、多くの人々が誤りを犯 し、物質的な所有への関心だけで心 を満たしたり、持ちたいという望み でいっぱいになったりしているのを 見る時、心を動かされないでいるこ とはできません。というのは、彼ら は無関心に見えるかも知れません が、霊魂の奥深くでは、神に飢えて います。誰かが神と救いの真理につ いて話してくれることを望んでいま す。私たちキリスト信者が、このよ うな問題に犠牲の精神で働かないな ら、そのときは預言者ヨエルが預言 したことが起こるでしょう。「畑は 略奪され、地は嘆く。穀物は略奪さ れ、ぶどうの実は枯れ尽くし、オ リーブの木は衰えてしまった。農夫 は恥じ、ぶどう作りは泣き叫ぶ。小 麦と大麦、畑の実りは失われた| 2。神は、実りが収穫されることを

期待されましたが、刈り入れの人が それを怠ったせいで、その実りは失 われてしまったのでした。

イエスのお言葉「収穫は多いが働き 手が少ない」を、私たちは日々、糾明するべきです。今日、神を知りませいでしたでしまりないででしたでしまりないででいるたけで、とを話したか? ながものでは、私がもっと大胆で、人のに義務を果たすなら、多とがわいに義務を果たすなら、ことがわいますか?

88. 2 言い訳はできません。神は、すべての人が使徒であるように招かれています。祈りは、召命を得るための最も効果的で必要な手段です

キリストを他の人々にもたらさない ために数多くの弁解がなされていま す。手段の不足、不十分な準備と時

間、私たちが世の中のほんの片隅に 住み、人を殆ど知らない、または、 居住地域内でも距離が離れていると いった言い訳です。けれども、神は 私たち皆に、特に、宗教的無関心が ひどいこの時代に、「収穫は多いが 働き手が少ないしことを思い出させ てくだっています。ちょうど良い時 に蓄えられなかった収穫物は失われ ます。聖ヨハネ・クリゾストモの次 の言葉は、私たちが祈りの中で、神 が望まれるような使徒であるという 崇高な呼びかけに、あまりにも簡単 に言い訳をしていないかどうかを知 るために役立つかも知れません。 「他の人々の救いに無関心なキリス ト者ほど冷淡な者はいない。貧しさ を言い訳にしてはなりません。小銭 を与えたやもめは、あなたを責める でしょう。ペトロ自身が言いまし た。『わたしには金や銀はない』 (使徒言行録)。また、パウロはあ まりにも貧しかったので、度々、飢 えに苦しみ、生きるために必要な物

に欠いていました。ですから、あな たたちは粗末な素地を弁解にしては いけません。彼らの素地もまた、質 素で粗末なものでした。知識の不足 も口実にはなりません。彼らは学問 のない人々でした。奴隷であろうと 脱走者であろうと自分にできること をしなければなりません。オネシム スはそのような人でした。ですから 彼の召命を心に留めなさい。自分が 健康でないことを言い訳にしてはい けません。テモテは度々病に伏して いました。私たち一人ひとりにでき ることをすべて行うなら、隣人のた めに役に立つことができます」<sup>3</sup>。 私たちは、神に忠実でありたいと思 います。すべてできることを果たす なら、私たちは忠実であるでしょ う。

「収穫は多いが働き手が少ない」。 大聖グレゴリオは次のように評して います。これを聞いた時、私たちは 悲しみを覚えざるを得ません。良い 知らせを聞きたいと思う人々がいるのを知っているからです。しかし、 見当たらないのは、このような良い 便りを伝える人たちです<sup>4</sup>。

自分に相応しい場所で、協力して働 く多くの人々がいるので、私たち は、イエスご自身の示された道に従 いさえすればよいのです。刈り入れ のために働く人を送ってくださるよ う、刈り入れの主に祈り求めなさ い。イエスは私たちが、神が救いの 業にもっと協力していきたいという 望みを、多くの霊魂に目覚めさせら れるようにと祈ることを願っておら れます。「使徒を獲得するために、 祈りほど効果的な方法はない | 5。 また、人々に彼らの召命を発見させ るためにもそうです。新しい使徒を 獲得したいという望みは、まず、継 続し、信頼した、謙遜な請願に表さ れていなければなりません。すべて のキリスト信者は、神が刈り入れの ための働き手を送ってくださるよう

に祈らなければなりません。このように神に召命を願うなら、使徒職においてもっと大胆であるべき義務があると感じるでしょう。このようにして、刈り入れのための働き手を勝ち取ります。

## 88.3神に召命を願う

弟子たちを送り出すことによって、 イエスはいろいろな町や村を訪れる 準備をしました。彼らの仕事はす て、使徒職の準備だけでした。彼ら は、イエスご自身が訪れようとしているすべての町に入って行きました。 すべての使徒職は、神が人の もとを訪れるときに頂点に達します。

刈り入れは多い。私たちは、絶えず神に、キリスト信者の男女が、自分たちの生涯の召命の意味に目覚めるように願わなければなりません。つまり、ただ善良であるだけではなく、神の呼びかけに寛大に応えて、

神の刈り入れの働き人になるようにと望むことかもしれません。この世で神に奉献している老若男女、多くの人は使徒的独身で、同僚と同じように世俗の活動をして、社会の真っ只中にキリストをもたらす普通のキリスト信者です。

刈り入れの主に祈りましょう。私たちはまた、司祭職や修道生活への多くの召命、つまり教会が非常に必要としている、忠実で聖、そして喜びに溢れた召命があるように祈らなければなりません。

贖いの業をご自分だけでやり遂げることがおできになった主は、神の国の素晴らしさと要求を告げ知らせるために、町や村、大学や工場に前もって出かける弟子たちを頼りにもないと望んでおられます。母な人をは、委託と聖性の道を歩む人をとしているのは明らかです。ローマ教皇たちは、私たちに、使徒的

召命の必要性を思い出させることを 止める事はありません。世界の福音 化は、大部分、このような人たちの 手中にあるからです。

「私がこう叫ぶのを手伝ってほしい。イエスよ、使徒となる人たちをお送りください。あなたのため、あなたの光栄のためです。必ず聴き入れてくださることが分かるだろう」<sup>7</sup>。

このような召命を勝ちとるために何をしているでしょうか? この召命 は、人々の子どもたち、兄弟、の中ないながなりません。神はを招いておられることが、呼びいように向けられる神の呼がはしますとしばする人々に向けられる神に願いません。

聖母に、主の言葉を重視するように 助けてくださいと願いましょう。刈

り入れは多い、私たちにできること すべてを、緊迫感を持って、常に継 続して行う決心をしましょう。この ように、神の刈り入れのために多く の働き手がいることを理解しましょ う。他の人々を招くために、イエス に使用される道具であることの喜び をくださいと主に願いましょう。 「善い知らせがあります。また新た に〈狂人〉が一人…、網に入りまし た」。これは、喜びに躍(おど)り上 がる〈漁師〉の手紙である。願わく は、神があなたの網を〈効果で満た して〉くださいますように(『道』 808)。 神は決してその〈漁師〉を

お忘れになりません。

<sup>&</sup>lt;sup>1</sup> マタイ9:36,10:8

<sup>2</sup> ヨエル1:10-11

<sup>&</sup>lt;sup>3</sup> 聖ヨハネ・クリゾストモ, Homilies on the Acts of the Apostles, 2 0

- St Gregory the Great, Homilies on the Gospels, 1 7
- <sup>5</sup>聖ホセマリア・エスクリバー, 『道』,800
- ゚ルカ10:1 参照
- <sup>7</sup> 聖ホセマリア・エスクリバー, 『道』, 804

pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/article/TO-XI-nichi-A/ (2025/12/12)